

4 教育研究組織

目標群

2005年度以降に設定した目標（2003年度に設定した1.3について削除）

1. 専門職大学院の新たな設置
2. 新たな学部を検討
3. 特定プロジェクト研究センターの設置
4. サテライトキャンパスの有効利用

進捗状況報告

学部・学科、研究科・専攻の新增設関係では、2008年4月の人間福祉学部（入学定員：300名）・人間福祉研究科（入学定員：博士課程前期課程8名、同後期課程5名）の開設を目指し、人間福祉学部開設準備室を設置した。同学部は、社会福祉学科、社会起業学科、人間科学科の3学科からなる。既存学部の学生定員増に関しては、2008年4月の経法連携コース開設（入学定員各学部30名合計60名増）が2006年6月の大学評議会で承認された。

2010年度の設置を目指し、「国際」に係る学部について検討する新設学部構想検討委員会の設置が、2007年3月27日の臨時大学評議会で承認された。また、社会学部においても、コース制に編成し直し、入学定員増の検討が進められている。

神戸三田キャンパスについては、2006年5月に受理された神戸三田キャンパス整備推進委員会の答申を受けて、大学新構想委員会のもとに2つの構想検討部会が設置された。理工学部では、数理科学科、人間システム工学科の新設及び学科再編を目指すことになり、総合政策学部では、国際政策学科及び都市政策学科が総合政策学科から学科として独立することを目指すことになった。これらにより理工学部、総合政策学部の各学部100名、合計200名の入学定員増の申請に向けて動き出している。

学部・研究科の改編については、2007年4月から文学研究科博士課程前期課程、後期課程のそれぞれ10専攻を3専攻（文化歴史学専攻、総合心理学専攻、文学言語学専攻）に改編することについて届出を行い受理された。

サテライトキャンパス整備という点では、大阪梅田キャンパスについて、社会人向けの大学院授業等のさらなる充実を図るため、2007年6月から現行のアプローチタワー14階（1,218.3㎡）に加え、10階部分にさらに2分の1フロア分（55.9㎡）を増床し、キャンパス機能の有効活用を行っている。

一方、東京における展開として、2007年6月に従来のパレスビル6階（303.94㎡）から現行のサピアタワー10階（394.42㎡）に移転し、名称を東京オフィスから東京丸の内キャンパスに変更した。パソコンを設置して学生の就職活動の拠点としているほか、最新鋭のAV機器を装備した教室も設け、学会活動、講演会、上ヶ原キャンパスとの遠隔授業などに活用している。

学内第三者評価結果を受けての追加記述

教育学部設置構想については、2006年3月28日の臨時大学評議会において承認された「幼児教育学科、初等教育学科、臨床教育学科の3学科制」の学部構想案が、2006年10月6日の第5回定例大学評議会で「幼児・初等教育学科と臨床教育学科からなる2学科制」に変更することになった。また、教育学部開設準備組織については、理事会の下に「聖和大学・関西学院合併推進本部」がおかれ、その下に、法人合併を担当する「聖和大学合併準備委員会」と教育学部開設準備を担当する「教育学部開設準備委員会」の2つの委員会がおかれることになり、大学では2006年2月1日の第7回大学評議会において、教育学部開設準備を推進するため、特定職務（聖和キャンパス）担当副学長を選任した。

学内第三者評価

新たな学部・学科、連携コースの開設を進める準備が着々と進んでおり、学校法人としても2008年度に初等部を開設し、2009年度には聖和大学との法人合併によって教育学部を開設することを目指して、関西学院全体の総合学園構想が大きく進展している。

大阪梅田キャンパスの拡充はサテライトキャンパスとして大学院教育に非常に有効であり、今後も積極的な活用に期待したい。

なお、進捗状況報告の中に聖和大学との合併とそれに伴う教育学部設置の構想について記述されていないが、合併推進本部も立ち上がっており、現在までの状況を簡単にでも記しておく必要があるのではないかと。